



No. 33

地質調査所長の USGS 訪問

昨年6月 米国地質調査所 (USGS) の所長一行の当所来訪 (本欄 No.25 参照) の際 当所の所長にも是非 USGS を訪問して欲しい旨の要請がありました。 現職の当所長の USGS 訪問は このところ十数年来 絶えて久しいことでもあり この機会に実現させようとの気運が高まりました。

しかしながら 超過密な所長のスケジュールから まとめて1週間程度の日程をひねり出すことは大変難しく 伸び伸びになっていましたが ようやく3月初旬の訪米を固めることができました。

3月6日 垣見俊弘所長は 同行の佐藤壮郎企画室長と衣笠善博地震地質課長と共に成田を出発 USGS 総本部 (レストン) と西部本部 (メンロパーク) を訪れ 3月13日に無事帰国しました。

渡米中の様子などは 改めて紹介されることと思いますが 手厚い歓迎を受けたと聞いています。

所長の渡米に際し 色々と御配慮頂いた工技院国際研究協力課に厚く御礼申し上げます。

続・招へい研究員あれこれ

本欄 No.29 で 62年度の招へい研究員5名の紹介を行いました。 その後も続々と来所し 総勢20名に達しています。 ではその続編をどうぞ

昨年11月29日 中国地質産産部地質遙感中心から2名の研究員を迎えました。 鄧兆倫 (Deng Zhaolun) さんと王品清 (Wang Pinqing) さんで ITIT プロジェクト「ランドサット TM画像解析」のカウンターパートです。 この計画は大陸地域の地質リモセンに関する研究協力です。 鄧さんと王さんは中国側の実施責任者です。 日本側リーダーの津安治課長ら物探 地熱 鉱床部の研究員と共同で 室内研究 野外調査 見学旅行等の日程を有意義に消化し 暮も押しつまった12月28日に帰国しました (写真1)

年が改まった1月14日 同じく ITIT プロ「コリジョン帯地質・鉱床」のカウンターパートとして パキスタン地質調査所 (GSP) のカーン (M.S. Zafar Khan) さんが来所しました。 先方の出国許可が遅れ 予定より2日

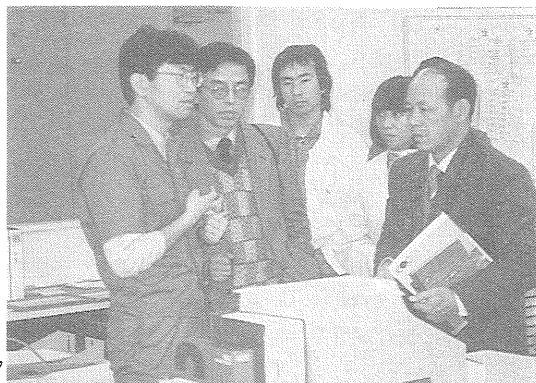
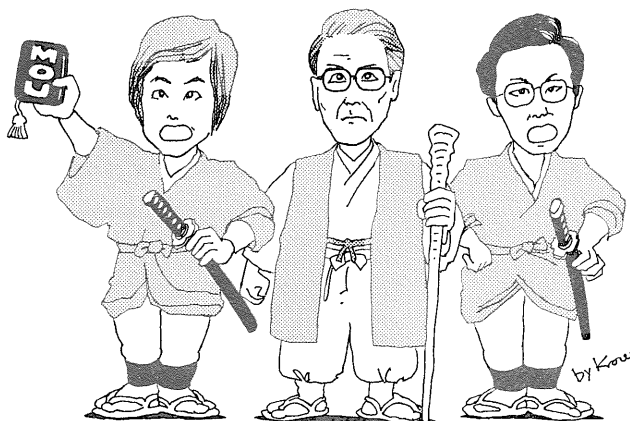


写真1 鄧さん (右端) と王さん (左から2人目) 宇宙開発事業団鳩山地球観測センターにて (佐藤功技官提供)

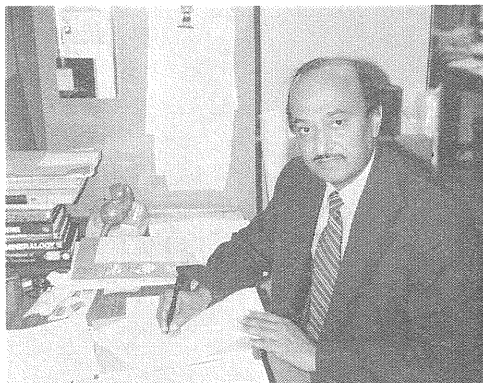


写真2 報告書作成中のカーンさん



写真3 スウィジャントさん(左)とスハリョーノさん
(温川温泉にて 古宇田亮一技官提供)

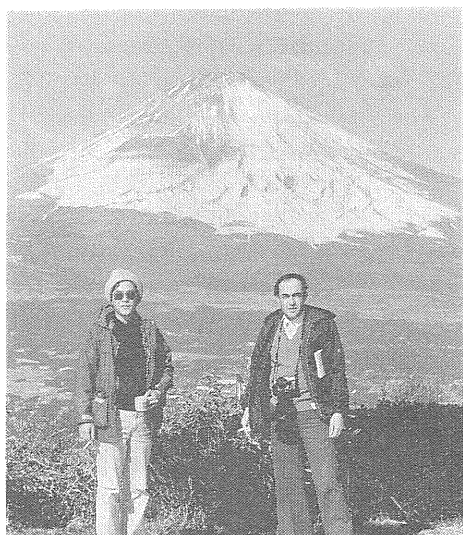


写真4 サウさん(右)(佃栄吉技官提供)

の延着でしたが 連絡がスムーズにとれていたの で 混乱はありませんでした。

カーンさんはGSPの北部地域支部長の要職にあり 今回の研究協力を実施する主要地域は その管轄下にあります。日本側リーダー中嶋輝允課長らとの共同研究のため 3月25日まで滞在しましたが これは今年度 ITIT フェロー中の最長記録です。長期滞在にたまりかねてか 3月4日に御夫人が来日 フルムーン(?)日本版となりました。ITIT フェローとしては珍しいケースでした(写真2)

1月29日から2月20日までは 科学技術振興調整費による「アセアン地域の地質リモセン」の共同研究のため

インドネシアから2名の研究員が滞在しました。地質工学研究開発センターのスウィジャント(Swijanto)さんとスハリョーノ(Kardi Suharyono)さんです。本研究協力は今年が2年目で スウィジャントさんは昨年に引き続いての来所となりました。

日本側担当責任者は 冒頭の中国との ITIT プロと同じ津課長で 熱帯雨林域と大陸域とのランドサット画像解析技術の比較検討が 両プロをベースとした重要な研究課題のひとつとなっています(写真3)

最終年度となった ITIT プロ「第四紀地殻変動」のカウンターパートは トルコ鉱物調査開発総局(MTA)のサウ(Halit Sav)さんで 2月2日から3月25日まで滞在しました。

本協力は60年度から3年間のプロジェクトでした。この間日本側リーダーは 加藤碩一→佃栄吉→衣笠善博→佃 とめまぐるしく変わりましたが 前プロ(活断層解析・57-59年度)からの強い協力関係にも支えられて 成功裡に終了を迎えることができました(写真4)

(以下次号・遠藤)

地質ニュース	第404号	4月号
	定価 ¥650	千実費
昭和63年4月1日	発行	
編集	工業技術院地質調査所	
発行人	林久雄	
発行所	株式会社実業公報社	
	東京都千代田区九段南4の2の12	
	〒102	
	Tel. (03)265-0951(代表)	
	振替口座 東京1-32466	
総発売元	株式会社実業公報社	
	出版事業部	